

雲北陵月報

No. 416

令和2年4月28日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

第25回中学校 第112回高等学校 入学式挙行

穏やかな春の日差しに包まれた4月9日、令和2年度出雲北陵中学・高等学校入学式が挙行された。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、簡略化した形で行われた中、本年度は中学校19名、高等学校20名合わせて219名の新入生を迎えた。

学校長式辞

初めに水谷厚志学校長より入学が許可され、式辞では「新型コロナウイルス感染症拡大につき、当たり前前

だったことが今当たり前にできない仲間がいることを心に留め、謙虚な姿勢で勉強に取り組んで欲しい。また日々の学習や部活などを通して、多くの良き友、真の友と巡り合い、これからの長い人生を支えてくれる確かな友情を築いて欲しい。」と激励の言葉が贈られた。また水谷勲理事からは「好きなことを早く見つけ、夢を抱き、その夢に向かって失敗を恐れずに挑戦して欲しい。」とお祝いの言葉が述べられた。

続いて新入生を代表し、中学校からは荒瀬翼(大津小)、高等学校からは埴谷のぞみ(山口・小郡中)が、それぞれ入学の決意を力強く宣誓した。

当日は本校高等学校PTA会長の小川敬様より文面によりご祝辞をいただきました。



中学校新入生代表
荒瀬 翼



高等学校新入生代表
埴谷のぞみ

くとともに、新入生の出身小学校、中学校の先生方や本校に所縁の深い多くの方々より祝電・祝詞をいただき、新入生の門出を祝福していただいた。

入学式に感謝



中学副校長
高橋 豊

高等学校は112回目、中学校は25回目の入学式を4月9日に実施しました。この節目を無事迎えた新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また保護者の皆様には、お子様の新たな門出にご参列いただき、誠に有難うございました。

全国的に、新型コロナウイルス感染症の対応のために、入学式が行われない学校が数多くあります。このような状況の中においても、本校は予定どおり実施できたことに、まずは感謝の念で一杯です。当たり前のことが当たり前にできる喜びを感じたいと思います。

入学式に際して、私から一つだけメッセージを送りたいと思います。それは、「よい習慣」を身につけるよう努力して欲しいということです。習慣と言っても色々ですが、私がビックアップしたいのは、自ら考え、判断し行動する自律の習慣です。今までの甘えや頼ってばかりの依存心は卒業して欲しいと思います。そして、若さという武器を持っている皆さんだからこそ、チャレンジする習慣と同時に、失敗しても立ち上がる、やり抜く習慣を身につけて欲しいのが私の強い願いです。ただ、よい習慣は、学校だけでは難しいもの

です。家庭の「子育て」で身につくものこそが真の習慣であると実感しています。家庭と学校が子どものよりよい人格形成のために使命感を持って、それぞれが役割を果たしていくことが大切であると思います。そうなるときと目の前の子どもは、知力と人間力を兼ね備えた、たくましい人材に育ってくれると私は信じています。

中学校なぎなた部・高等学校卓球部 島根県体育協会表彰 優秀チーム賞・優秀選手賞・ 優秀指導者賞受賞

去る3月23日、サンラポールむらくもにて、令和元年度島根県体育協会表彰が行われ、中学校なぎなた部と高等学校卓球部が優秀チーム、高等学校なぎなた部の森本あか音(35歳)が優秀選手、卓球部顧問の古瀬泰之教諭が優秀指導者としてそれぞれ表彰を受けた。この賞は全国大会ベスト4以上に入賞したチーム・選手・指導者に贈られる賞である。中学校なぎなた部は昨年7月に開催された全国中学生なぎなた大会での団体優勝、高等学校卓球部は昨年3月に開催された全国高等学校卓球選抜卓球大会で団体3位入賞、森本あか音は昨年3月に開催された全国高等学校なぎなた大会で個人3位入賞、森本あか音が評価され、この度の受賞となった。



表彰を受けた4名

#

新入生オリエンテーションを実施



学校長による講話

4月9日、中学生19名、高校生200名の新入生が入学し、翌10日から新入生オリエンテーションが行われた。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中高別にして実施した。高校生は、学校長から本校の歴史や校訓、これからの学校生活における指針についての講話を聞いた。中学生は最初に高橋中学副校長から、学園の歩み、校章や制服また本校独自の教科である礼法についての話を聞いた後、学校長による講話を聞いた。



中学校対面式の様子

二日目は書写や校舎見学、部活動紹介などがあり、無事に二日間にあたる新入生オリエンテーションを終了した。新入生の皆さんが充実した高校生活を送れるよう教職員一丸となって応援していきたい。(高校一年主任 黒崎 勉)

新任紹介

常勤講師



齋藤茉莉花

(教科：音楽)

今年度から着任しました齋藤茉莉花と申します。この春に大学院を修了し、神奈川県から参りました。初めての場所。初めてのこと。すべてが一からなので不安もたくさんあります。しかし、それと同時に、新たな場所で出会えた生徒の皆さんと先生方と活動できることを楽しみにしています。この学校で

出会えた生徒の皆さんや先生方とのご縁に感謝し、日々過ごしていきたいと思えます。目の前のことに真摯に向き合い、自分自身も成長していけるように一生懸命努力します。よろしくお願ひします。



山崎 潤

(教科：国語)

65歳を超えて隠居生活を楽しんでいましたが、35年ぶりに出雲北陵高校に戻ってきました。当時を懐かしく思い出しながら、北陵高校の変貌と発展ぶりに戸惑っていてもいる毎日です。2・3年生の現代文を担当しますが、文章をゆとりと楽しめ、生き方を考える授業ができるといいなあと思っています。と言っても、趣味は読書よりも音楽。休日の午後は、若い時から買い集めてきた黒いレコードを、大音量で3、4時間聴いて過ごします。ただ音のシャワーを浴びるだけ、これぞ至福の時です。



岩井 元康

(教科：理科)

非常勤講師

この4月本校に着任した岩井元康(いわいゆきやす)と申します。緑の多い、樹木を中心とした様々な植物に囲まれた自然豊かな環境の学園で非常勤講師として勤務できることを大変うれしく思っています。生徒の皆さんと楽しく生物の授業ができるよう精一杯努めたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



持田 悦子

(教科：国語)

今年度から国語科の非常勤講師とし

5/1(金)	新体力テスト・身体測定 (延期・実施日未定)
8(金)	高等学校生徒総会 (全体では中止、執行部のみで開催予定)
9(土)	第25回吹奏楽部定期演奏会 (延期・7/19(日)実施予定)
11(月)	中学校授業参観・保護者会総会(中止) 中学校生活安全教室(延期・5/27(水)実施予定)
15(金)	第1回PTA評議員会(中止)
18(月)	県総体壮行式(未定) 中学校生徒総会(中止)
19(火)	高等学校2年生除草作業(2学期に延期) 中学校サン・レイク宿泊研修(延期・実施日未定)
26(火)	高等学校PTA総会(中止) 中学校校外講師特別講座(延期・実施日未定)

※ 中学校交通安全教室 (5/22(金)実施予定)

英語指導助手



ジョシュア・ヒギンズ

て着任いたしました持田悦子と申します。よろしくお願ひいたします。二十数年前に広島県の県立高校の非常勤講師を振り出しに、県内の中学校、高校にも勤務させていただきました。現在も本校のほかにも他校のお手伝いもしています。微力ながら生徒の皆さんの学びのお手伝いができればと思っています。とても綺麗な校舎で素晴らしいなと思うながら、早く学校に慣れればと思うこの頃です。週三日勤務しますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

5月の行事予定について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い変更になった今後の行事につき、一部掲載させていただきます。今後の状況次第では更なる変更もありますので、HPや緊急メール配信システムによる確認をよろしくお願ひいたします。

令和2年度 学級担任

	主任	担 任 等				高 1	主任	担任	学 級					
中 1	手 銭	正担		村上					1 普通 (簿記・国演・英演)	2 普通 (簿記・国演・英演)	3 普通 (国演・英演)	4 普通 (国演・英演)	5 特進	6 芸術 (音・美)
		副担		西村										
中 2		1		2		正担 金森	酒井	多々納	篠原	鈴木	石倉			
		正担	河野	正担	別所									
中 3		副担	田部		副担 勝部	黒崎	佐々木	黒崎	尾添	原田				
		正担		相場										
		副担	齋藤											

高 2	主任	担任	学 級					
			1 普通 (情報・保育)	2 普通 (教養・看護)	3 普通 (教養)	4 普通 (進学)	5 特進	6 芸術 (音・美)
伊藤	正担	陶山	椿	遠藤	岩成	柳樂	妹尾	
	副担	古瀬	田邊	伊藤	田邊	伊藤	飯塚	

高 3	主任	担任	学 級					
			1 普通 (情報・保育)	2 普通 (教養・看護)	3 普通 (教養)	4 普通 (進学)	5 特進	6 芸術 (音・美)
石川	正担	畑	井上	松井	福間	泉	竹内	
	副担	春日	石川	春日	中川	岡由	石川	

作品と研究

「出雲北陵中学校に入学して」

黒田 花音(中3)

私が、北陵中学校を受験しようと思ったことは三つあります。

一つ目は、家族が北陵中学校をすすめてくれたからです。もともと自分でも気にはなっていました。半分諦めていました。しかし、自分の思いを話してみたら応援してもらえようになりました。

二つ目は、家族がすすめてくれたあと、北陵中学校のオープンキャンパスに何度か連れて行ってもらったからです。なかでも「体験授業」がとても心に残りました。こんなに楽しいことをするんだと思いました。

三つ目は、北陵中学校は、学業を伸ばしてくれると家族から聞いたからです。そう言われた時、私はもつと学力を伸ばしたいと思いました。

今回、受験ができたのは、全て家族や友達など身の回りに人がいたからこそのことだと思っています。私は、家族の期待に応えられるようにしたいです。そのためには、北陵中学校の生徒として、誇りをもちたいです。これから三年間の中学校生活はとても短いと思いますが、校則や服装を守り、校訓の「柔しく剛く」にふさわしい人間になれるように三年間学んでいきたいです。

「出雲北陵高校に入学して」

安部 優斗(中2)

私は高校に入学して頑張りたいことがたくさんあります。

まず、友達をつくることです。私は友達をつくるのが苦手です。入学式当日はとても不安でした。しかし、周りには話しやすい人がたくさんいてうれしかったです。これから始まるたくさんの方の行事にみんな協力して取り組みたいです。

次の目標は文武両道です。勉強面では中学よりも難しくなるので、授業中に先生の話をしっかりと聞き学びたいと思います。部活動面では、自分が頑張りたいものを見つけ、三年間続けられるようにしたいです。大変なこともあると思いますが、仲間と一緒に最後までやり遂げたいと思っています。

そして、最大の目標は進路のことです。三年生になったら、その先のことも考えなければなりません。自分の行きたい道に進むには、普段の学校生活が大切だと思います。毎日学校に通うこと。しっかりと学習に取り組むこと。学校のルールを守ることなどです。

北陵高校では、今の目標を達成できる環境があるので、中学でできなかったところを直して、新たな気持ちで生活します。そして、三年後に気持ちよく卒業できるように頑張ります。

引野 結子(小6)

私が出雲北陵高校に入学したいと思った理由は二つあります。

一つ目は部活動を頑張りたいと思ったからです。ずっと吹奏楽部に入っていたので、ずっと吹奏楽部に入りたいです。高校は雲の上の存在でしたが、自分は松江の普通高校に入学するんだと小学生の頃から思っていました。しかし、オープンキャンパスで吹奏楽部の生演奏を聴いたとき鳥肌が立って

私の口は開いたままでした。本気で北陵高校に入学したいと思いました。二つ目は部活動と勉強が両立できる学校だと思っからです。中学のときから両立はしていましたが、これからは勉強が一段と難しくなり部活動も練習量が増えて忙しくなります。そんな状況の中でも、国立大学や県立大学、有名私立大学に合格した先輩方がおられるので、とても安心して入学式を迎えることができました。中学校が一緒の人がいなくて、松江から電車通学するので友達ができるか心配していましたが、特進コースにも電車通学する人や同じ松江出身の生徒が数人いて心強かったです。

入学してから五日経った今日、いよいよ本格的な授業が始まりました。不安な気持ちはありませんでしたが、どの先生も一つひとつ丁寧に教えてくださいました。特別講座も今日が初めてでしたが、ジョシユア先生が楽しく授業を進めてくださいました。今まで英語は苦手でしたが、北陵高校に来て好きになれるような気がしました。しっかりと勉強してたくさんの方の力を身に付けたいと思っています。勉強と部活動の両立も気を引きしめて頑張りたいです。

曾田 陽向(小6)

私の夢は自分の考えたものを形にすることです。昔から絵を描くのが大好きでよく描いていたのですが、親にはいつも「本当にあんたの絵は下手だ」と言われていました。それでも「描く」ことが好きな私はずっと絵を描いていました。ところが、小学生の時、友人の弟に「へたくそだ」とはつきりと言われました。親以外にそのようなことを言われたのが初めてだったので、大きなショック

クを受けました。その時から「じゃあ上手くなってみせる」という思いで、「上手く」描くことを目標に絵を描いていきました。中学校では美術部に入部し、画力がないながら周囲の上手な人を目標にして頑張りました。高校では、将来物作りの仕事、今のところは「プロダクトデザイナー」になりたいと思い、絵や色について詳しく学ぶことができるこの高校に入学することにしました。

入学してまだ慣れないことばかりです。登校する時間も早くなりました。しかし、好きなことを学べるので、中学校よりも学校に行くのが楽しくなりました。

画力のレベルはまだまだですが、絵が好きだという気持ちは他の人に負けません。他の人よりも枚数を重ねることを意識して、今までやってきたことを継続していくつもりです。そして、夢を叶えるために勉強をしっかりしていきます。特に英語と数学を中心に頑張ります。きちんと卒業できるようにしたいです。



第3回カメラ女子写真コンテスト入選作品

今月の
1枚

「過去との対話」

山根 七海(小4)